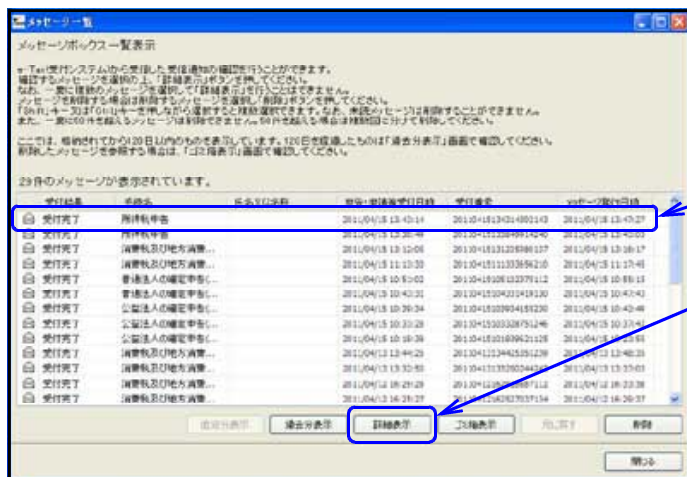


送信報告書の印刷

電子申告を送信後、受付完了通知のメッセージ詳細から送信報告書の印刷を行うことができます。送信報告書は、電子申告を行った内容について、税理士が納税者の方へ報告する書面としてお使いいただけます。

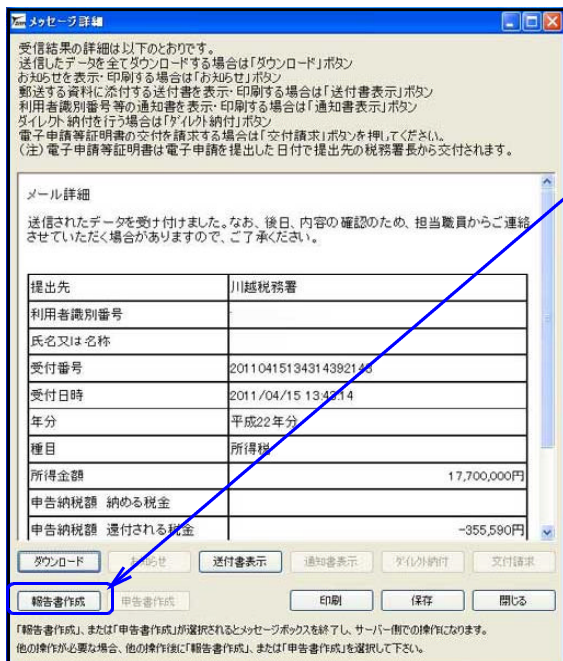
(※なお、銀行等への報告には従来通りメッセージの詳細表示を印刷して提出してください)



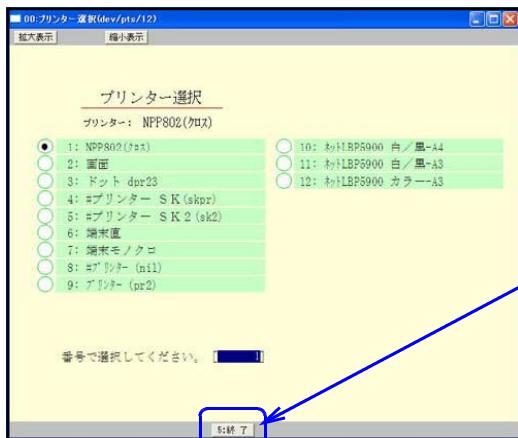
1. 申告書送信後、メッセージBOX一覧表示を開きます。

送信報告書を作成したい受付完了通知をクリックして選択します。

2. [詳細表示]をクリックします。



3. [報告書作成]をクリックします。



4. プリンター選択画面を表示します。
プリンター指定後、[F5:終了]を押します。

電子申告送信報告書

1 / 1

納税者情報

法人基本情報
 法人名称
 法人番号

代理店情報
 法人名称
 法人番号

送信結果

送信日時 平成 22 年 04 月 15 日 10 : 40 : 14 実行番号 20110415104014092140

種別 元 月給税額算出 種別 所得税 申告の種類 確定

所得金額	17,700,000 円
申告納税額 納付される税金	
申告納税額 還付される税金	-855,500 円

送信履歴

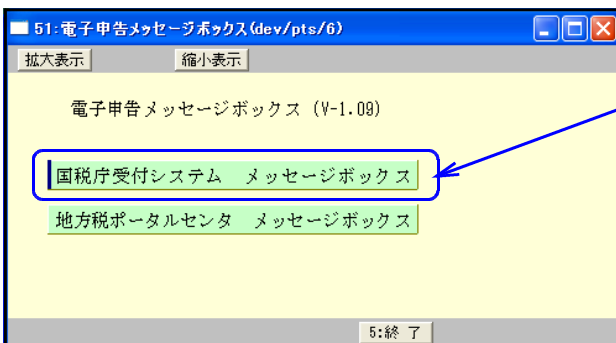
- 1 平成22年分の所得税の確定申告書A
- 2 平成22年分 給与所得の源泉徴収票の記載事項
- 3 平成22年分 退職所得の源泉徴収票・特別徴収票の記載事項
- 4 平成22年分 公的年金等の源泉徴収票の記載事項
- 5 平成22年分 社会保険料額に係る控除証明書の記載事項
- 6 平成22年分 医療費に係る控除書等の記載事項
- 7 平成22年分 雑所得額に係る補正申告書の記載事項
- 8 平成22年分 雑所得(終業等寄附金)の受領証等の記載事項
- 9 平成22年分 住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書の記載事項
- 10 平成22年分 特定口座年間取引報告書の記載事項
- 11 平成22年分 配当所得に係る支払通知書の記載事項
- 12 平成22年分の申告書等送信履歴(兼送付書)

5. 送信報告書を印刷します。
(送信帳票数が多い場合、印刷が2頁に渡ることがあります。)

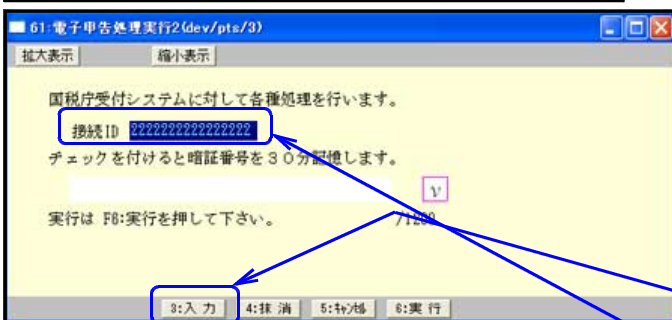
国税お知らせメッセージから法人税予定申告書を作成・変換する方法

前事業年度又は前課税期間に法人税確定申告を電子申告した法人について、申告期限月の上旬に法人税の予定申告及び消費税の中間申告に関するお知らせが届きます。
このお知らせメッセージを元に、法人税予定申告書を作成・変換する方法です。

(※納税者本人のメッセージボックスへ法人税予定申告のお知らせメッセージが届きます。税理士のメッセージボックスではございませんのでご注意ください。)



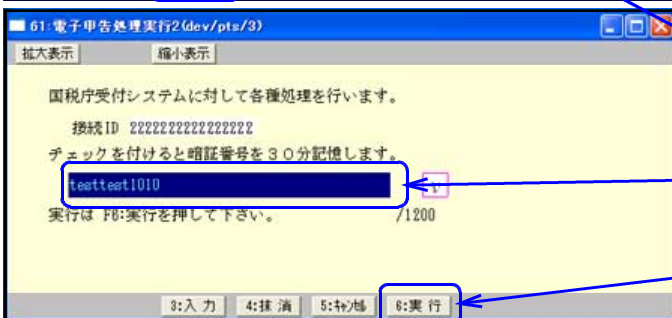
1. [国税庁受付システム メッセージボックス] をクリックします。

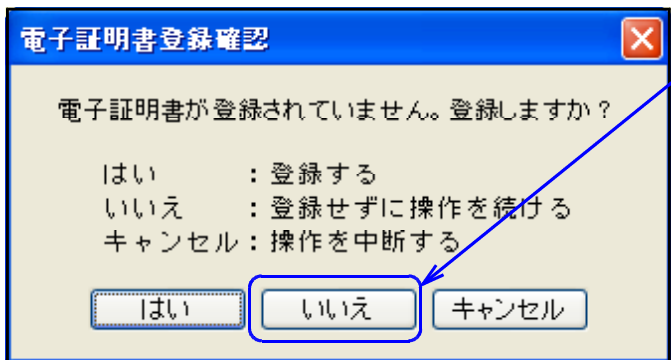


2. 納税者本人のメッセージボックスを開きます。

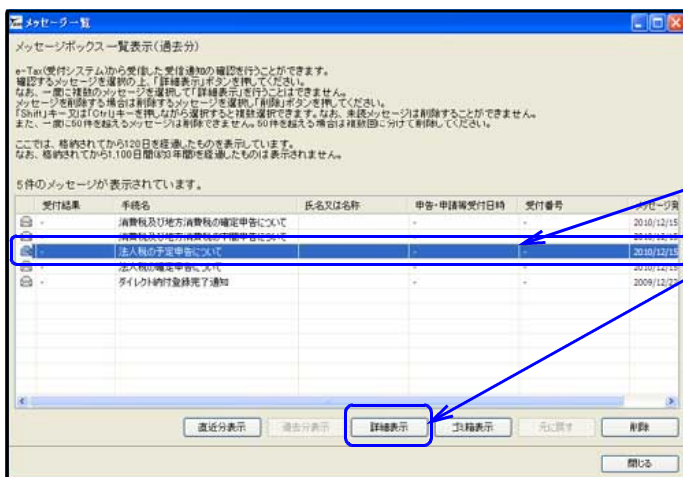
(※法人税予定申告のお知らせは「納税者本人のメッセージBOXのみに格納される」ため、納税者の利用者IDとパスワードで実行する必要があります。)

3. パスワードを入力し Enterを押してから[F6:実行]します。



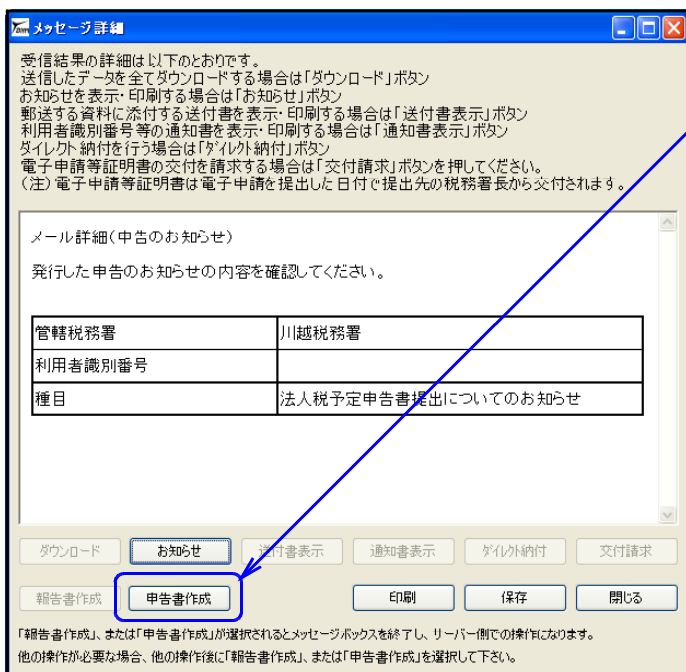


4. このウィンドウが出た場合、「いいえ」で進みます。

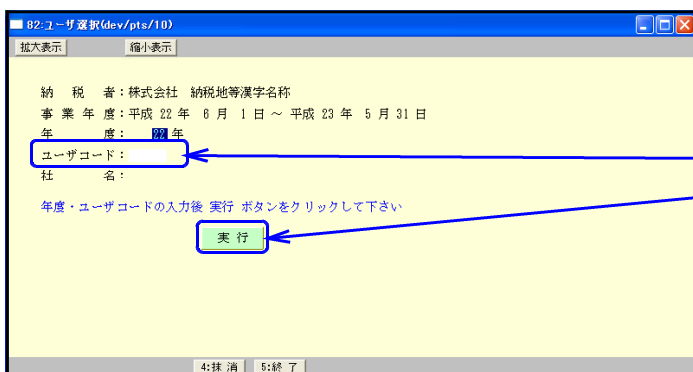


5. メッセージボックス一覧を表示します。「法人税の予定申告について」というメッセージをクリックして選択します。

[詳細表示]をクリックします。

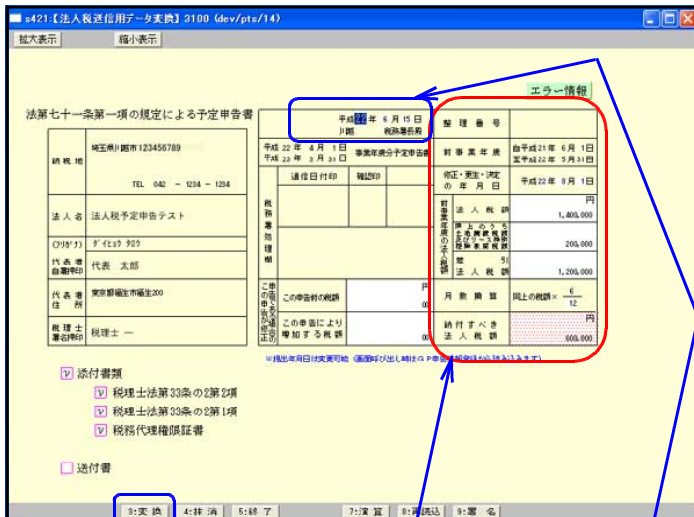


6. [申告書作成]をクリックします。



7. お知らせメッセージから、納税者名および課税年度を自動表示します。

該当するユーザコードを入力します。
実行ボタンをクリックします。

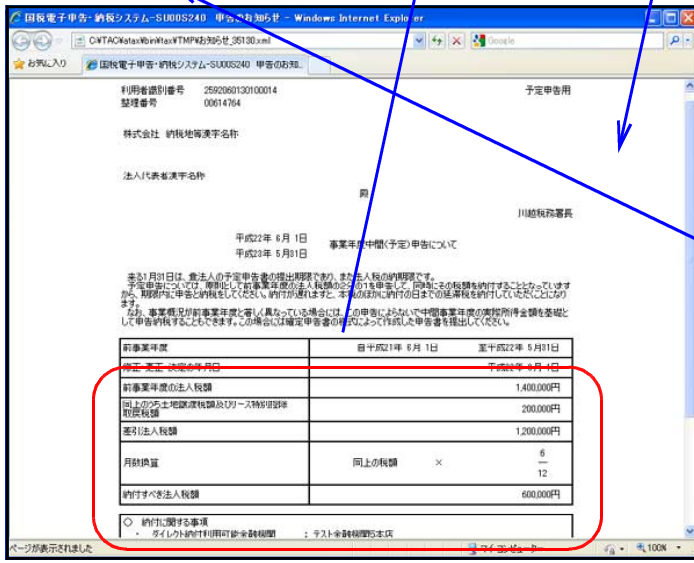


8. 予定申告の作成画面を表示します。
赤枠内のデータは「お知らせ」内から転記した内容です。

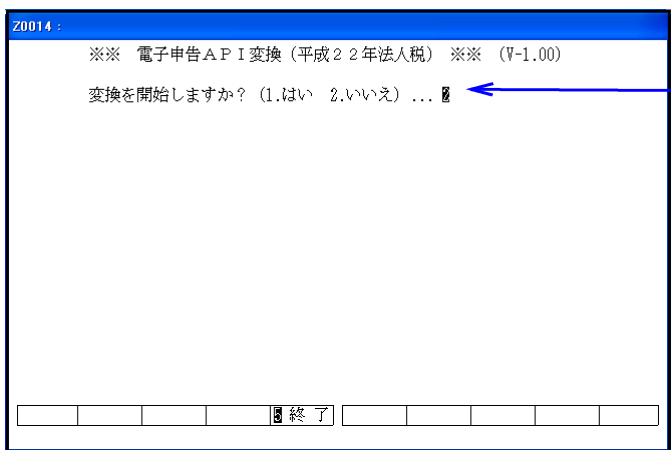
(「お知らせ」画面は、メッセージBOXにて、メッセージの「詳細表示」→「お知らせ」ボタンをクリックすると参照できます。あわせてご確認ください)

納税地等の基本情報は、通常の電子申告変換時と同様にGP申告情報登録より変換します。

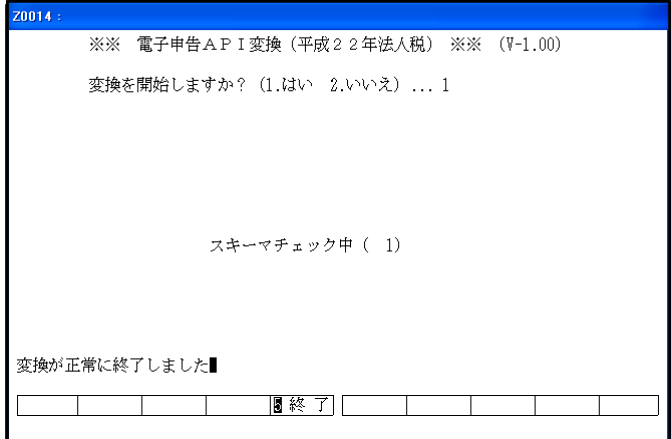
提出日付もGP申告情報登録より変換しますので、訂正が必要な場合はこちらの画面上で訂正入力を行ってください。(この画面で訂正した場合、GP申告情報登録自体は変更いたしません。)



9. 内容をご確認のうえ、[F3:変換]で変換します。



10. 「1. はい」を入力し、Enterで変換を開始します。



11. 「変換が正常に終了しました」と出ましたら変換終了です。
[F5:終了]で終了します。

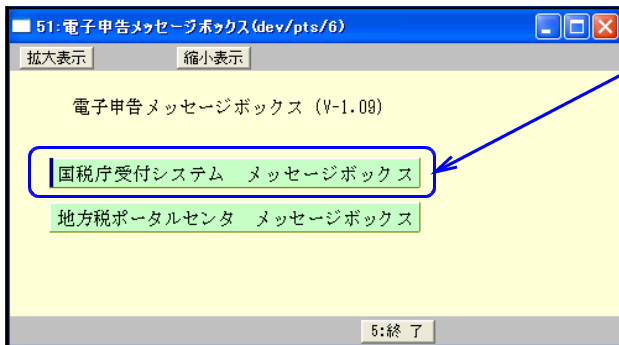
(署名・送信画面より署名・送信作業を行ってください。)

国税お知らせメッセージから消費税中間申告書を作成・変換する方法

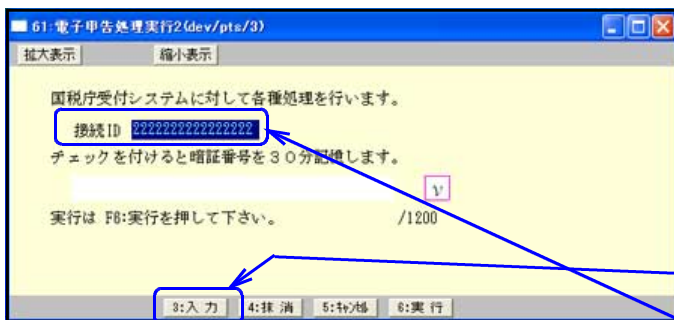
前事業年度又は前課税期間に消費税確定申告を電子申告した法人について、申告期限月の上旬に消費税の中間申告に関するお知らせが届きます。

このお知らせメッセージを元に、消費税中間申告書を作成・変換する方法です。

(※納税者本人のメッセージボックスへ消費税中間申告のお知らせメッセージが届きます。税理士のメッセージボックスではございませんのでご注意ください。)



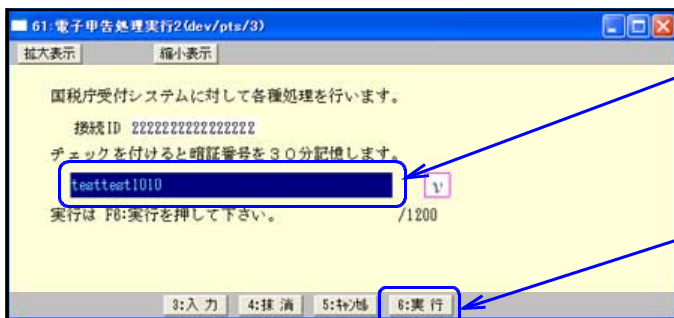
1. [国税庁受付システム メッセージボックス] をクリックします。



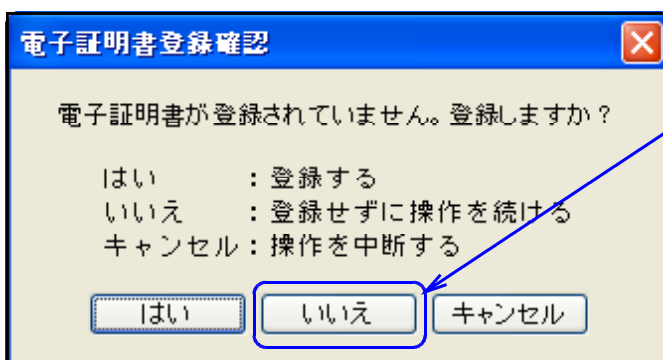
2. 納税者本人のメッセージボックスを開きます。

(※法人税予定申告のお知らせは「納税者本人のメッセージBOXのみに格納される」ため、納税者の利用者IDとパスワードで実行する必要があります。)

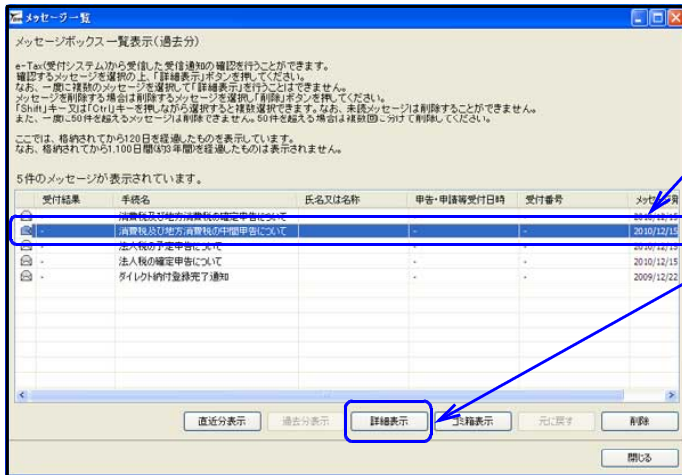
[F3:入力]を押すと接続IDの入力が可能になります。
納税者IDを入力します。



3. パスワードを入力し
Enterを押してから[F6:実行]します。

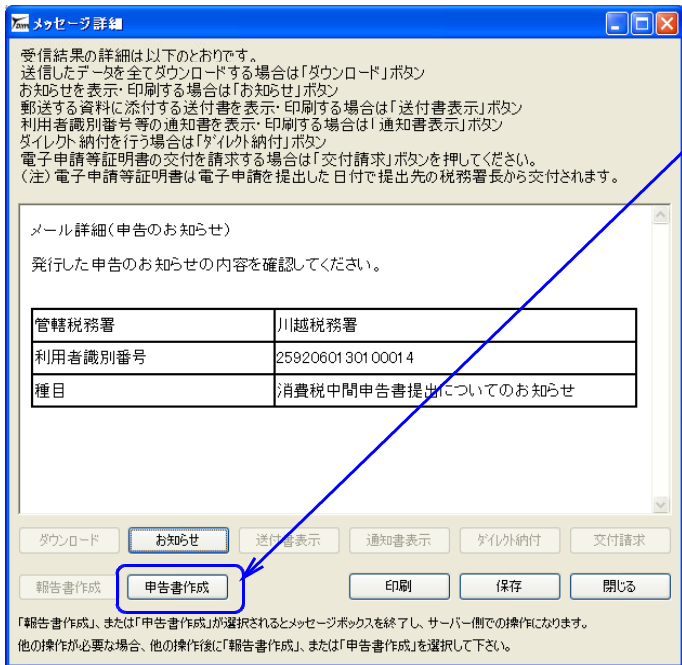


4. このウィンドウが出た場合、「いいえ」で進みます。

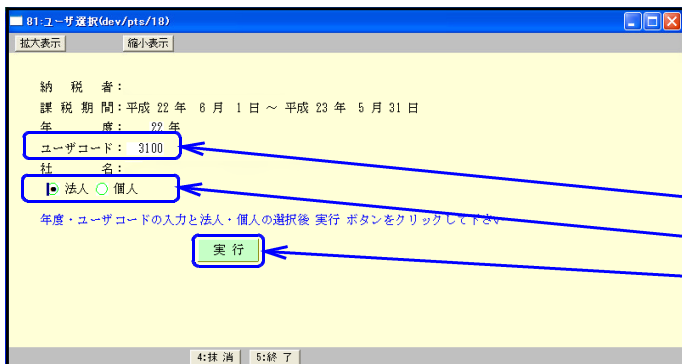


5. メッセージボックス一覧を表示します。「法人税の予定申告について」というメッセージをクリックして選択します。

[詳細表示]をクリックします。

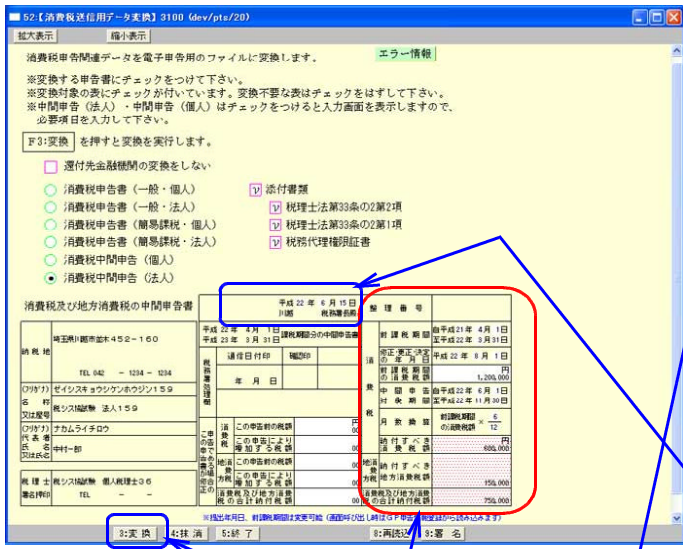


6. [申告書作成]をクリックします。



7. お知らせメッセージから、納税者名および課税年度を自動表示します。

該当するユーザコードを入力します。
法人・個人を選択します。
実行ボタンをクリックします。

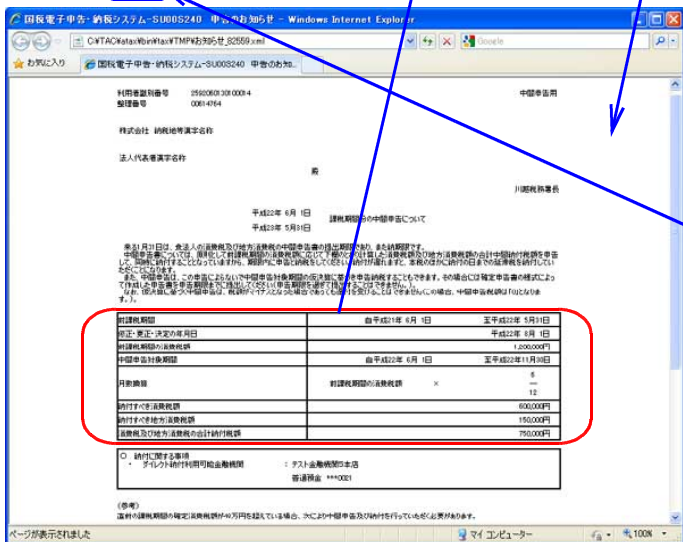


8. 中間申告の作成画面を表示します。
赤枠内のデータは「お知らせ」内から転記した内容です。

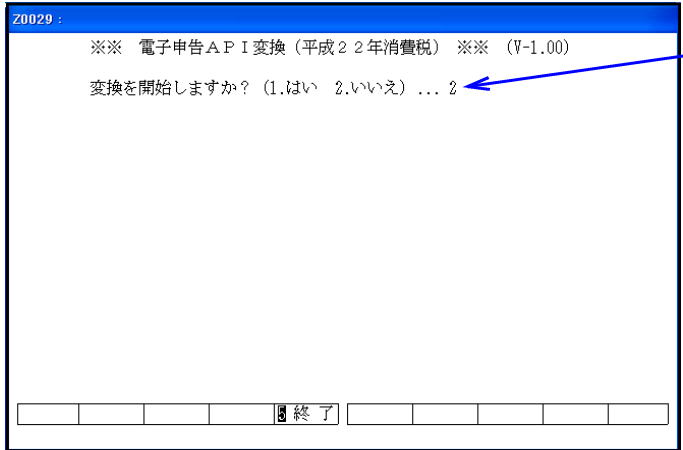
(「お知らせ」画面は、メッセージBOXにて、メッセージの「詳細表示」→「お知らせ」ボタンをクリックすると参照できます。あわせてご確認ください)

納税地等の基本情報は、通常の電子申告変換時と同様にGP申告情報登録より変換します。

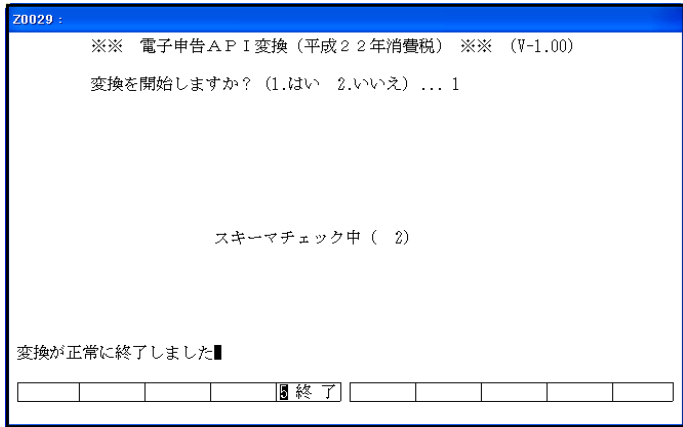
提出日付もGP申告情報登録より変換しますので、訂正が必要な場合はこちらの画面上で訂正入力を行ってください。(この画面で訂正した場合、GP申告情報登録自体は変更いたしません。)



9. 内容をご確認のうえ、[F3:変換]で変換します。



10. 「1.はい」を入力し、Enterで変換を開始します。



11. 「変換が正常に終了しました」と出ましたら変換終了です。
[F5:終了]で終了します。

(署名・送信画面より署名・送信作業を行ってください。)